

FOR IMMEDIATE RELEASE

Equis が青森県にて 2 件の太陽光発電所（計 27.4MW）を同時運転開始

（2017 年 5 月 30 日）

アジア太平洋地域最大の独立発電事業者（IPP）であるエクイスエナジー（以下 Equis）は、青森県上北郡七戸町にある 2 件の太陽光発電所（計 27.4MW）にて商業運転を開始いたしました。

Equis は、日本国内に総計 0.9GW にのぼる 40 件以上の案件を保持しており、この他にも総容量 1.3GW 分の案件を現在開発中です。東京地域本社をはじめとし、青森県七戸町、福島県福島市、茨城県笠間市に事業所を構え、開発、設計、プロジェクト管理を行う経験豊かなエンジニア陣や投資のプロフェッショナルによるスタッフを 60 名以上雇用しております。

Equis の日本代表であるアダム・バリーンは、次のように述べました。

「国を挙げて再生可能エネルギーを推進しようとする日本では、弊社が行う太陽光発電事業を幅広く支持していただいていることもあり、とりわけ弊社が計 170MW 以上にわたる 10 施設を運営・建設する青森県では、地元の皆様とも強固な関係を築くことができました。弊社の事業により、より安価でクリーンな電力を供給できるのみならず、地元自治体の皆様に地域雇用を創出できることを大変嬉しく思います。」

今回商業運転を開始した「野崎狐久保（青森県上北郡七戸町）」と「疍平（青森県上北郡七戸町）」の太陽光発電所では、年間計 33,240MWh を発電します。これは、年間 6,301 世帯に供給可能な発電量に相当し、18,315 トンの CO2 削減、3,130 万リットルの節水効果をもたらします。

Equis Energy (エクイスエナジー) について

シンガポールに本社を置くエクイスエナジーは、アジア太平洋地域に15のオフィスを展開し、100名の専門技術者および35名の現地開発に精通した開発要員を含む、272名のスタッフを雇用しています。エクイスエナジーは、発電容量ベースでアジア太平洋地域最大の再生可能エネルギー独立系発電事業者(IPP)であり、インド、インドネシア、オーストラリア、タイ、フィリピン、台湾および日本に跨って、合計4.7 GWにのぼる102カ所の再生可能エネルギー発電事業を保有しています。また、現在の4.7 GWのポートフォリオに加え、エクイスエナジーはさらに71件（計6.3 GW）の案件を開発中です。

本プレスリリースに関してのお問い合わせはこちらまで：

畦地 麻子（あぜち あさこ）

jp-enquiries@equisenergy.com